

公的年金保険制度を題材としたモデル授業②（案）（1時間目）

○授業の目標

- ・人生，とくに老後の生活にはどのようなリスクが潜んでいるのかを理解する。
- ・リスクに対してどのような考え方があるのかを理解する。
- ・支え合うというのはどういうことなのか。またその周辺にある課題について気付く。

タイトル：年金をどうするのか？ 政策を選んでみよう！

	学習内容	学習活動	指導上の留意点
導 入	場面設定	<p>【説明】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本時は架空の国を設定することを知る。 ・設定する国の内容を具体的に理解する。 人口40人・・・高齢者50% 働く世代50% 主な産業・・・ものづくり 農業 運ぶ仕事 売る仕事 通貨・・・円 物価・・・2021年の日本の物価と似ている 財政赤字・・・約1,000兆円 ・国の名前をみんなで決める 	<ul style="list-style-type: none"> ・国の名前はこの授業を実践するときの季節を表す名前にする。例えば春に授業を行うならば「サクラ国」、夏ならば「スイカ国」というように。
展 開 1	2枚のカード	<p>① これから番号が書かれたカードをもらうことを知る。注意事項は次の通りであることを理解する。</p> <p>(1) 一人ひとり異なる番号のカードが配布される。その番号を他者に知られることがないように注意する。</p> <p>(2) 本時はこの番号で指示があるので番号を聞き逃さないように注意する。</p> <p>② 実際に番号が書かれたカードを受け取る</p> <p>③ 全員が「高齢者」のカードと「働く世代」のカードを受け取る</p>	

<p>展 開 2</p>	<p>カードでキャラクターを設定する</p>	<p>※ このクラスが40人学級であるという前提で記述します。</p> <p>① 配布された番号が「1～20」までの人は「働く世代」のカードを見る</p> <p>② 配布された番号が「21～40」までの人は「高齢者」のカードを見る</p> <p>③ 「働く世代」及び「高齢者」に関する情報は次のようなものであることを理解する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>— 高齢者 —</p> <p>仕事は引退している 貯金は500万円ある 年金を年間100万円もらっている 普通の生活をするためには年間で200万円必要</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>— 働く世代（生産年齢人口） —</p> <p>年収400万円</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>— 支出 —</p> <p>生活費：200万円 貯金：100万円 納税：50万円 保険料：50万円</p> </div> </div> <p>④ クラス全員が配布された番号により、どちらかの役になりきることを知る。</p>	<p>・「高齢者」のカードが配られた者はカードを見て毎月使える金額を計算するように指示する。</p> <p>・「働く世代」のカードをもらった者は年収と支出のイメージを共有させるように指示する。</p> <p>・配布するカードの数は人口構成の通りになっている。</p>
<p>展 開 3</p>	<p>高齢者の生活を支える仕組み①</p>	<p>① 長生きをしたときに、自分の力だけで生活することが難しいことを理解する。</p> <p>② この国では高齢者に年金を給付するための保険料を現役世代が支払うという仕組みになっていることを理解する。</p> <p>③ カードを見て、このクラスの国では若者がどのくらい負担しなければいけないのかを計算する。</p> <p>例) 40人のクラスの場合 高齢者は20人 働く世代は20人 高齢者は年間100万円の年金をもらう</p>	<p>・生徒に発問を繰り返しながら「高齢者の生活を支える仕組み」について理解させるよう心掛ける。</p>

		<p>ギリギリの生活を心掛ける 不足分は貯金を使う 働く世代は保険料を50万円納めている</p> <p>この50万円を80万円に増やして高齢者がもらえる年金をもう少し増やしてもらえないだろうか？</p> <p>④ 投票用紙をもらい2カ所に○印をつけて投票する</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>投票用紙</p> <p>☆ どちらかに○印をつけてください</p> <p>私は（働く世代・高齢者）です</p> <p>1) 働く世代の方↓ 保険料を80万円納めることに Y/N (←どちらかに○印)</p> <p>2) 高齢者の方↓ 若者に保険料80万円を納めてほしいですか？ Y/N (←どちらかに○印)</p> </div> <p>⑤ クラスの誰かが開票して読み上げる (教師が黒板に開票結果を書く)</p>	<p>・投票するときに、なぜその選択をしたのかという理由を可視化させるように留意する。</p> <p>・誰が「働く世代」で誰が「高齢者」なのかはわからないという前提を守りとおす。</p>
<p>展 開 4</p>	<p>高齢者の生活を支える仕組み②</p>	<p>① 役割を変更することを理解する</p> <p>② 配布された番号が「21～40」までの人は「働く世代」のカードを見る</p> <p>③ 配布された番号が「1～20」までの人は「高齢者」のカードを見る</p> <p>④ 二枚目の投票用紙をもらい2カ所に○印をつけて投票する</p> <p>⑤ クラスの誰かが開票して読み上げる (教師が黒板に開票結果を第一回目の投票結果の隣に書く)</p>	
<p>展 開 5</p>	<p>どのような工夫が必要なのか？</p>	<p>① 黒板に書かれたデータから読み取れることは何かを考える。その1</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p><気がつくこと></p> <ul style="list-style-type: none"> ・誰もが若者から高齢者になること ・支える人と支えられる人の役割が順番に来るということ </div>	<p>生徒に気づいてほしいことは次の二点。</p> <p>①時間軸を意識した役割分担の変化。</p> <p>②若者の時と高齢者の時との役割の違い</p>

		<ul style="list-style-type: none"> ・今のことを想像することも大切だが未来のことも想像できる市民にならなければいけないということに気づく <p>② 黒板に書かれたデータから読み取れることは何かを考える。</p> <p><考え方1> 高齢者に生活レベルを下げてもらおうという考え方</p> <p><考え方2> 若者はしっかりと保険料を納めてほしいという考え方</p> <p><考え方3> 国は借金をしてでも高齢者を支えなければいけないのではないかとこの考え方</p> <p><考え方4> 高齢者も働くことで収入を得ればよいのではないかとこの考え方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どうして保険料を納めなければいけないのか？という問いを共有する。 	<p>※これは教師が発問を繰り返しながら導く必要がある。</p> <p>この考え方は教師が示すのではなく問答を繰り返す中で生徒に発言させる</p>
<p>まとめ</p>	<p>何が問題なのか？どのようなことを考えなくてはいけないのか？</p>	<p>① 本時の振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・架空の国の保険料のことを考えたことを確認する。 ・この国は少子高齢化が極端に進んでいることを確認する。 ・高齢者には高齢者の意見が、若者には若者の意見があることを確認する。 ・皆が幸福を求めていることも確認する。 ・誰しものが若者の時代と高齢者の時代を迎えることを理解する ・どうして保険料を納める必要があるのか？という問題をクラス全員で共有したことを確認する。 <p>② 次の時間に考えることの共有</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どのような工夫をすればよいのかを皆で考えることを確認する。 	<p>①について。時間軸を意識できる認識を目ざす。今だけを考えるということと未来のことを考えるという両方の視点をもって諸課題を考えていきたい。</p> <p>②について。枠組みのないところに知識を注入しても生徒のなかではバラバラでつながりのない知識になってしまう。本時では枠組み形成を目ざすことに重点を置く。そのうえで社会保障に関する様々</p>

		<p>な知識を注入することで一人一人の生徒は得た知識をつなげていくと考える。</p>
--	--	--

配布するカードのイメージ

高齢者

仕事は引退している
 貯金は500万円
 年金を年間100万円もらっている
 普通の生活をするためには年
 間で200万円必要



働く世代

収入

400万円

支出

生活費 : 200万円
 貯金 : 100万円
 納税 : 50万円
 保険料 : 50万円



投票用紙

☆ どちらかに○印をつけてください

私は（働く世代・高齢者）です

1) 働く世代の方↓

保険料を80万円納めることに

Y/N（←どちらかに○印）

2) 高齢者の方↓

若者に保険料80万円を納めてほしいですか？

Y/N（←どちらかに○印）

公的年金保険制度を題材としたモデル授業②（案）（2時間目）

	学習内容	学習活動	指導上の留意点
導入	前の時間の復習と本時の目標の確認	<ul style="list-style-type: none"> ・なぜ保険料を納めるのかという問いを共有したことを振り返る。 ・この架空の国（仮に「サクラ国」とする）サクラ国が教科書に書かれているような少子高齢社会に向かっていることがわかった。 ・サクラ国を持続可能な国にするためにどのような工夫が必要なのかを考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・前の時間に行った投票結果を分析したプリントを作成して配布する。
展開1	似たような国はないのか？	<ul style="list-style-type: none"> ・少子高齢化になりそうなサクラ国にとってこれからの政策を考えるにあたって参考になる国はないかを考える。 ・すぐに「日本」ということに気がつく ・日本の現状を分析し、サクラ国の政策にどのように活かすことができるかを考えることが本時の問題意識であることを感じ取る。 ・日本のデータを分析する ・Q1「日本は昔から核家族が多かったのか？」を考える。 A：資料【家族をめぐる代表的な変化】 https://www.mhlw.go.jp/nenkinenshou/structure/structure02.html 資料から読み取れることを考える ・Q2「日本はどのように高齢者の生活を支えているの？」 A：【賦課方式】 https://www.mhlw.go.jp/nenkinenshou/finance/index.html 資料から読み取れることを考える ・Q3「どうして日本は積立方式でないのか？」 https://www.mhlw.go.jp/nenkinenshou/finance/finance02.html 	<ul style="list-style-type: none"> ・サクラ国は複雑な変数を除いたモデルのようなイメージで考えていることを留意して指導する。 ・教師が指示しなくても、これは日本のことを考えているのかもしれないという生徒間の雰囲気をつかみ取る。 ・資料を単なる数値の変化として読み取るのではなく、資料全体が何をメッセージとして発信しているのかを読み取らせるよう留意する。

		<p>/</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Q 4 賦課方式の課題は何か？ https://www.mhlw.go.jp/nenkinkenshou/finance/finance02.html ・ Q 5 課題を克服するためにどのような工夫をしているのか？ ・ Q 6 ほかにどのようなことを調査してみたいのか？ 	
展 開 2	サクラ国の未来を考えるプロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> ・ 似たような国としての日本の調査が終了したことを理解する。 ・ 日本の事例をもとに「サクラ国の未来を考えるプロジェクト」に取りかかる ・ サクラ国の何が問題なのかを明らかにする ・ 高齢者の意見と若者の意見を比較する。 ・ 若者から高齢者にメッセージを作成する ・ 同時に高齢者から若者にメッセージを作成するメッセージについて 【画用紙を配布して記入する】 【記入後黒板に貼るという指示を受ける】 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日本の現状を参考にして新たな政策を考えさせる。 ・ 自分の要求を主張するということも大切。一方で、助け合うという精神がないと持続可能な社会の形成は難しいということも理解させる。 ・ メッセージをシャッフルして、時間の許す限り黒板に貼って紹介する。
展 開 3	日本の若者にメッセージを送る	<ul style="list-style-type: none"> ・ サクラ国の政策選択を終えて、日本の若者にメッセージを送る ・ ワークシートに各自メッセージを作成する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 実は自分自身に向けてのメッセージだということを教師の口からは言わない。生徒に言わせるよう留意する。
ま と め	振り返り	<ul style="list-style-type: none"> ・ サクラ国はほぼ日本と同じ条件だが、複雑な要素をすべて排除した単純な仕組みで社会保障を考えたということを理解する。 ・ 日本の社会保障を利己的な視点と利他的な視点の両面から考えたことを理解する。 ・ 新たな問いはどのようなものなのかを認識する。 	<p>あらゆる他の条件を一定にした条件でサクラ国という仮の国における社会保障を検討した。このモデルでの経験を日本の政策選択に活かすことができたかどうか</p>

			に留意しながら振り 返りをさせる。
--	--	--	----------------------